義務教育学校に関する保護者等説明会について 会議録(北河原)

- 1 開催日時 令和2年8月1日(土)午前9時~午前10時30分
- 2 開催場所 やすらぎの里 第3研修室
- 3 出 席 者 保護者8名、一般6名
- 4 教育委員会 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長

学校教育課 須永主幹

教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発言者	会議の経過(議題・発言内容・結論等)
司会	1 開会
諸貫次長	2 説明・義務教育学校について・開校に向けた組織と現在の検討経過について
出席者	3 質疑応答 今日は教育長がいないが、今日の質疑は教育委員会としての回答で良いか。
諸貫次長	教育委員会の回答となる。
出席者	カリキュラムの部分は以前の説明の頃より進展したと思うが、どれだけ実行できるか疑問がある。2度説明に参加させてもらったが、2度目の説明で江戸川小中学校へ視察に行くと話があった。視察の報告会を期待していたが、なくて残念だった。視察へ行ってどのような感想を持ったのか知りたい。
諸貫次長	視察については、報告会という形では行っておらず、温故創生に記事を載せた。江戸川小中学校は見沼と同じように中学校の中に小学校を入れた学校となる。開校する前と後に行った。先生の意識をそろえるのに時間がかかるが効果があるという感想だった。そのための準備を再編前から進めていくべきだと思う。教育課程部会や事務部会で本格的に準備を進めていく。
出席者	視察というのは事前に質問を出してから行くものだと思う。江戸川小中学校で現在どのような問題があるのか。開校までに保護者にどのような話をして保護者からの質問はどのようなものだったのか。どのような

面が参考になるのか。を聞いてくるのが視察だと思う。

諸貫次長

実際に視察をする前に質問を投げかけてから話を聞きに行った。小中一貫の取り組みや異学年交流について聞いた。活動内容によって学年の組み合せをどのように設定するかが難しいとのことだった。そういった課題を基に行田市として具体的に進めていく必要があると思う。スクールバスの関係だが、異なる地域を時間差で運用しているが、毎回早く家を出ないといけない地域が出てしまう。毎年人も変わるので運行ルートをどのようにするのか、乗車確認をどうするのかを参考に聞いてきた。細かく言うと他にもあるが、子どもが学校で活動する事は支障がない。

出席者

視察先が開校して半年の学校だったので、大きな問題も生じてないと 思う。開校して2~3年経ったところへも視察へ行って、見沼に還元し てもらいたい。

出席者

今日の説明会は急遽行うことになった。その経緯はわからないが、各部会からどのような問題があがっているか。又は部会と教育委員会の間でどのような問題があるのか。

諸貫次長

それぞれの部会から課題は挙げられていない。準備委員会の中で、義 務教育学校が浸透していないという意見があったため、今日の説明会と なった。

出席者

教育委員会の方針と各部会の意見はかみ合っているということでいいのか。

諸貫次長

齟齬はないと思っている。

出席者

現役の頃に学校に対して意見を提案したことがあるが、職員会議で通れば学校の方針となるようだ。色々なプランをすべて一括して市議会に提案するのか。それとも、個別に市議会へ出すのか。

諸貫次長

教育課程などのプランは議会に諮ることはない。保護者や地域に理解をいただくことになる。議会については、新たな義務教育学校を設置することを設置条例として諮ることになる。

出席者

以前の説明会では増設すると聞いていた。それであれば学校再編もや むを得ないかなと思っていた。2月のタウンミーティングの時に質問し たのだが、市長は10年後にまた再編成するから増築できないと言っていた。結果的にそれが議会の意見にもなって、それが原因で増築できないことになったのか。

諸貫次長

小学校低学年で不足する教室分を増築という話をしていた。クラス数のこと、特別教室で状況が変わってきたということで、既存の校舎の中でうまく配置できるかどうかを先生に聞きながら進めている所である。10年後については、計画の中では次の義務教育学校があるが、この10年間で新たに複式学級が生じる見通しはなく、北小の一部の校舎の耐用年数が来てしまう。20年後30年後を考えた場合、北部全体で子供の数がどうなるのかということもあるので、改めて検討することになる。10年でなくなるのが確定しているわけでない。

出席者

以前もらった資料に数字があった。その資料を信用して意見を言っている。

出席者

教員の負担が減るというが、9年間一緒にして負担が減るかというと、職員会議も長くなるし、ジュニアやミドルと分けるとそこでも話し合いをしないといけなくなる。教頭は何人か。義務教育学校では加配は増えるのか。小中両方の免許を持っている先生で全員埋まるのか。

今成副参事

江戸川小中学校では教頭は2人であった。統廃合加配の制度があり、 統廃合1年前から数年間は適用できる。小中両方の免許を持っている先 生については、現段階から計画的に人員配置をしていく。人数の問題が あるため、全員は難しいと思うがなるべく多く配置する努力をする。

出席者

10年後の計画について、教育委員会として校長会で説明をして了解を得ているのか。校長から先生へ説明が行っているのか。教育委員会が独走しているように感じる。10年後は千人規模の義務教育学校を計画しているが、日本にどのくらいあるのか。そもそも義務教育学校は規模が小さい学校のための制度ではないのか。

吉田部長

学校の先生にも部会に入ってもらったりしている。そのため、ある程 度浸透しているとは思うが、学校現場とはしっかり連携していきたい。

諸貫次長

義務教育学校の規模については、両方あって、品川区では多くの学校 を義務教育学校にする方針で、大きな規模の義務教育学校ができてい る。ただ、大規模な義務教育学校にすることは小中一貫教育の効果とし て疑問がある。

出席者

教職員が理解をしていないと何も進まないと思う。住民も大事だが教職員からも意見を吸い上げてほしい。市内でもこの地域でしか大規模の義務教育学校はやらないが、姿勢が揺れているように感じる。

諸貫次長

計画上はこの地区だけとなっているが、小中一貫教育は一体型が一番 効果が出ると考えている。理想の形は義務教育学校だが、施設面から制 約がある。

出席者

いじめや非行について、9歳の幅があるので小さい子が巻き込まれないか。

諸貫次長

中学校進学の時に小学校の情報が中学では把握できていない問題があり、先生が切れ目なく見てあげる事を進める必要がある。すでに一体型で行っている学校をみると、小さい子を見守る意識が強くなる傾向が出ている。年齢の離れた兄弟も少なくなっている中、他の年齢の子どもと触れ合う機会は、心の成長という面で効果が出ている。

出席者

跡地についてはどのように考えているのか。

諸貫次長

学校機能はなくなるが、使えるうちは避難所の機能は残す必要がある。何として使うかは議論を始めたばかりである。春日部の例だと元の学校の教材などが整理されていない状態でまだ使われていない。

出席者

中学生は自転車となっているが、6 k m以上だとバスという話もあったと思うが、そのように部会で決まったのか。

諸貫次長

中学校の通学範囲の設定として 6 k m となっている。それを超える部分については、バスの検討をしないといけないと思う。

出席者

期限を決めないと保護者も心配なので、いつまでにやるのか。

諸貫次長

バス通学の関係かと思うが、いつまでというのは申し上げられないが、アンケートの中で意見を聞く機会を設けたいと思う。

出席者

校庭について、視察に行った先では小学生用スペースは小さめだった という意見を聞いたが、中学生が部活をしていて、小学生が思いっきり

遊べるスペースはあるのか。 放課後や休み時間が問題になると思う。小学生が使う遊具は新設する 諸貫次長 が、ネットを置く予定となっている。見沼中の校庭は元々広めになって おり、西中と同じくらいの大きさである。危険がないように対応をして いきたいと思う。 出席者 南河原小に行きたいといったときに行けるのか。 諸貫次長 小中一貫教育をする上で、北河原地区全体で一つの学校にまとまった 方がいいとは思っている。距離的に南河原と迷うと思うが、保護者の意 見を聞きながら進めていきたいと思う。今は駄目とも自由とも言えな い。 出席者 新しい校長や先生による準備室のようなものは作らないのか。保護者 や地域が話をする時に窓口は一本が良い。

学校の組織としては考えていない。

司会 4 閉会

諸貫次長